

■関連イベント
ギャラリートーク
日時 企画展開催期間中の月曜・木曜14時
会場 本館企画展示場
※申込不要、要展示観覧券
※都合により時間帯が変更になる場合があります。

開館40周年記念新着資料展示
「標交紀のコーヒーの世界」

伝説の自家焙煎咖啡店「もか」の店主、標交紀が集めたコーヒー関連資料をもとに、中東から日本へ伝わり、独自に磨かれた「咖啡」の世界を紹介いたします。
会期 11月14日(火)まで
会場 本館ナビひろば

■関連イベント
台湾映画鑑賞会

「祝宴！シエフ」
台湾の食文化をユーモラスに描く台湾映画から、食と社会との関係について考えます。
日時 10月14日(土)13時30分～16時30分
(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券
※入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配布

「火の山のマリヤ」
グアテマラの高地に暮らす17歳のマヤ人のマリヤの運命をとおし、現代社会における先住民マヤの問題を考えます。
日時 11月5日(日)13時30分～16時
(13時開場)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券
※入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配布

みんなく映画会
第38回ワールドシネマ

「カナダ先住民の文化の力」
過去、現在、未来」
カナダは2017年に建国150周年を迎えました。同国と先住民との関係の変化に着目しながら、多様な先住民文化の歴史と現状、未来を紹介します。
会期 12月5日(火)まで
会場 本館企画展示場

研究公演

「めばえる歌——民謡の伝承と創造——」
映像民族誌「めばえる歌——民謡の伝承と創造——」の上映と、民謡やわらべ歌の実演をおこないます。
日時 11月11日(土)13時30分～16時30分
(12時50分開場)
出演 井上博斗、松田美緒、山口亮志
会場 本館講堂(定員450名)
※要事前申込、要展示観覧券

公開講演会
「料理と人間」
食から成熟社会を問いなおす

生態資源の利用、共食や分配等の社会的機能、味や食感を伝える調理の技術等、食に関わる様々な要素を考えながら、文明と文化の境界面としての料理を考えます。
日時 11月17日(金)18時30分～20時40分
(開場17時30分)
会場 日経ホール(東京、定員600名)
主催 国立民族学博物館、日本経済新聞社
※要事前申込、参加無料、手話通訳あり
お問い合わせ先
研究協力課研究協力係
06・68778・8250

公開フォーラム
「世界の博物館2017」

日時 11月3日(金)祝13時～17時
会場 本館第5セミナー室(定員70名)
※要事前申込、参加無料、先着順
お問い合わせ先
研究協力課国際協力係
06・68778・8250
カレッジアンター
「地球探究紀行」
開館40周年にちなみ、本館展示の地域区分(12地域)ごとに、地球に暮らす人びとの多様な営みを紹介します。

会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※要事前申込(参加状況により当日受付あり)、
参加費1000円、定員各回50名
主催 産経新聞社
共催 近鉄文化社、スペース9
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
インドネシアの伝統芸能ワヤン
日時 10月11日(水)13時～14時30分
講師 福岡正太(本館准教授)

ベトナム、黒タイのいろいろ

日時 10月25日(水)13時～14時30分
講師 樫永真佐夫(本館教授)
お申し込み・お問い合わせ先
ウエーブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087

●11月1日から7日は「教育・文化週間」です
教育・文化週間は教育や文化への関心と理解を深め、充実・振興を図ることを目的として設けられ、今年で59回目を迎えます。この機会に、全国で開催される様々な行事に足を運んでみてはいかがでしょうか。
教育・文化週間ウェブサイト
(文部科学省ホームページ)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/kyoku-bunkai

●みんなく無料シャトルバスのご案内

大阪モノレール「万博記念公園駅」でみんなくとの直通無料送迎バスを特別展「よみがえれ！シボルトの日本博物館」の会期中に運行します。
運行日 10月10日(火)までの土曜・日曜・祝日
1日11往復、所要時間10分、無料
運休日 平日
※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

みんなくセミナー

日時 10月21日(土)13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第473回
ジョージ・ブラウン・コレクションの軌跡をたどる
講師 林勲男(本館教授)
みんなくが所蔵するジョージ・ブラウン・コレクションをめぐる遺族の葛藤、所蔵博物館の危機、コレクションの転売・分散そして新たなプロジェクトなど、約1000年の歴史についてお話しします。



ブラウン自宅のコレクション (N.ジョイス提供)

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と語る

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく」の展示資料について分かりやすくお話しします。
10月1日(日)14時30分～15時 本館第7セミナー室
1962年、世界をめぐる旅
話者 信田敏宏(本館教授)
10月8日(日)14時30分～15時15分 本館第7セミナー室
島に住む人類
話者 印東道子(本館教授)

10月15日(日)14時30分～15時 本館第3セミナー室
ペルーの文化遺産を守る
話者 関雄一(本館教授)

10月22日(日)14時30分～15時30分 本館第7セミナー室
ナビひろば
心の扉を開ける鍵としてのコーヒー
パレスチナ・イスラエルでのフィールドワークから
話者 菅瀬晶子(本館准教授)

10月29日(日)14時30分～15時 本館第3セミナー室
フィールドワークとケガール ―ヘトナム西北部調査より
話者 樫永真佐夫(本館教授)
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)。ただし、1日(日)、8日(日)、15日(日)、29日(日)は展示観覧券不要

国立民族学博物館開館・友の会発足40周年記念
みんなく大集合
記念対談

「文化人類学と霊長類学」
人類文化の普遍性をさぐる」
ヒトとサルはどこまで同じで、どのように違うのか、人類文化の普遍性と独自性について、語りあいます。
日時 11月4日(土)13時30分～15時(13時開場)
話者 吉田憲司(本館館長)、山極壽一(京都大学 総長)
会場 本館講堂(定員450名)
※要事前申込(応募者多数の場合は抽選)、要展示観覧券
(友の会会員は会員証提示)
※申込締切 10月20日(金)必着
※記念対談の前後に友の会会員限定の施設見学会、研究者との交流会をおこないます。

主催 千里文化財団
共催 国立民族学博物館
お申し込み・お問い合わせ先
千里文化財団
06・6877・8893

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

訃報 野村雅一名誉教授

本館の野村雅一名誉教授(七五歳)がさる九月九日に逝去されました。しぐさ、身ぶり、ボディランゲージなどの身体的コミュニケーションについての比較研究、南ヨーロッパにおける民俗文化の研究を専門とされ、文化人類学にとどまらず社会学、心理学など多方面で業績をあげられました。一九七八年から二〇〇六年の本館在職中に実行委員長としてとり組まれた企画展「みんなくミュージアム劇場」からは表現する「や」、「しぐさの人間学」等多くの著作で研究成果を発表されています。また、本誌「月刊みんなく」編集長も長期にわたり務められました。謹んでお悔やみ申し上げます。

友の会

友の会講演会

【第90回民族学研修の旅開演】
巨石の島に生きる
——インドネシア・ニラス島の家屋と集落
講師 佐藤浩司(本館准教授)
一万を超える島嶼に「100以上の民族が暮らすインドネシア。ここでは、島ごとに異なる個性豊かな木造家屋が生み出されてきました。なかでも独特の巨石文化と、船ながらに家屋が並ぶ壮大な集落景観が知られているニラス島では、今も人が溢れ、あたりまえのように日常生活が営まれています。ニラス島だけが何故伝統的集落を維持し続けることができるのでしょうか。ニラス島を中心に、インドネシアの伝統家屋、そして建築文化財が直面する課題について考えます。

【東京】第120回東京講演会

11月23日(木)祝13時30分～14時40分
会場 モンベル御徒町店4Fサロン
※要事前申込(定員60名)、会員無料(会員証提示)、一般500円

【大阪】第472回友の会講演会

12月2日(土)13時30分～14時40分
会場 本館第5セミナー室
※当日先着順(定員96名)、会員無料(会員証提示)、一般500円
※いずれも終了後、講師を囲んで懇談会(40分)をおこないます。

※第90回民族学研修の旅は2018年3月にインドネシアへの訪問を予定しています(11月募集開始予定)。

第76回体験セミナー

世界的嗜好品 コーヒーを知る
——発祥の地、アラブのコーヒー文化とUCC「コーヒー」博物館
講師 西尾哲夫(本館教授)
日時 10月18日(水)申込締切 10月2日(月)
会場 UCC「コーヒー」博物館、UCC上島珈琲株式会社